

発音障害を持つ小児へのオンライン支援報告

新型コロナウイルスの感染拡大による影響は多方面に及んでいます。障害を持った子供たちへの影響を心配する保護者の方も多いためです。そのような中、今回、発音障害を持っている小児の保護者より、保育や通学が見合わせとなる中でコミュニケーションの機会が減少し発音機能への影響を心配され「コロナウイルス感染も不安だが、発音習得がおくれ、保育園、学校での生活に支障をきたすのも不安」との相談がありました。

このような相談に対する支援として、タブレットやスマートフォンを活用したオンラインでの発音練習を行っていただけないかと地域リハビリテーション広域支援センターへ打診を行ったところ言語聴覚士による「オンラインでの発音指導」が実現しました。

対象者 14 名に（延べ 26 回）30 分～40 分間/1 回をオンラインによる指導・相談として 4 月 30 日～5 月 21 日に渡る約 1 か月間行いました。

今後も相談及び要望があった際は、対応して行きたいと思えます。

